Ⅴ　令和４年度事業実績

令和４年度事業実績

◎基金繰入額　　（単位：千円）

積立金	内　容	予算額	決算額	差引額
森林環境保全基金積立金	森林環境税の目的である、「森林環境の保全」と「森林と共生する文化の創造」を図る事業を計画的かつ確実に実施するため、基金として積み立てる。	595,739	595,552	-187
	○森林環境保全基金積立金（A）	595,739	595,552	-187

◎歳出額

区　分	内　容	事業名	予算額	決算額	差引額
県指定事業　森をつくる活動	県民が安全で安心して暮らせるよう森林環境の保全を図るため、森林整備、森林病虫獣害の防除やそれを支える人材の育成等を総合的に進める。		235,811	216,751	19,060
		①森林整備推進事業 「えひめ森林・林業振興プラン」に基づく森林整備の推進を図る	56,717	56,442	-275
		②集落等山地災害危険地区整備事業 山地災害危険地区の森林を土砂流出防止機能の高い健全な森林へ誘導	40,000	39,314	-686
		③フォレスト・マイスター養成支援事業 林業技術者等の担い手を養成する研修の実施	18,639	18,066	-573
		④有害鳥獣総合捕獲事業 ﾆﾎﾝｼﾞｶによる森林被害等を軽減し、森林を保全	51,780	42,227	-9,553
		⑤特定鳥獣保護管理計画推進事業 ﾆﾎﾝｼﾞｶの個体数調査や試験捕獲の実施	6,900	4,661	-2,239
		⑥優良種苗確保事業 健全な森林を造成するため優良な苗木を確保、提供	28,436	25,481	-2,955
		⑦林業躍進プロジェクト推進事業 推進会議の開催等による森林・林業の現状把握	2,156	1,757	-399
		⑧林業架線作業促進事業 大面積で効率的な木材生産が可能となる林業架線作業への支援	23,190	20,869	-2,321
		⑨県産大径材生産促進事業 大径材活用のための流通設備等の支援	7,993	7,934	-59
県指定事業　木をつかう活動	持続的な森林経営の推進に不可欠な森林資源の利活用を促進するため、公共的施設や民間住宅における木造化・木質化等による、木質資源の利用拡大を図るとともに、県産材の安定供給体制等の整備を行い、県産材の競争力の強化を図る。		189,251	183,860	5,391
		①木質バイオマス利用促進事業 未利用材を木質バイオマスとして有効利用	21,230	20,222	-1,008
		②ＣＬＴ等建築物建設促進事業 地域のシンボルとなる公共施設の木造化及びＣＬＴ利用の普及・促進等	60,348	57,480	-2,868
		③木の香る公園施設整備事業 利用者に優しい木材を使用した公園施設の整備	2,000	2,000	0
		④えひめ材住宅普及啓発事業 県産民間住宅に柱材を無償提供する等、木造住宅の建設を促進	71,332	70,646	-686
		⑤愛媛県産材製品市場開拓促進事業 県産材の販売体制整備や大消費地での市場開拓等を支援	13,710	13,534	-176
		⑥特用林産物生産販売促進事業 乾しいたけや乾たけのこ等の特用林産物生産者の確保等	19,131	18,478	-653
		⑦えひめこどもの城「To-beの森」プロジェクト	1,500	1,500	0
県指定事業　森とくらす活動	青少年を対象とした森林・林業体験や森林環境教育を行うとともに、森林づくりを行う市民グループやボランティア団体の交流や森づくりの場（フィールド）等の情報提供を行ない、県民参加による森林づくりの気運の醸成を図る。		32,216	28,857	-3,359
		①県民と森との交流促進事業 県民と森との交流促進	20,200	17,703	-2,497
		②林業普及指導事業 森林そ生プロジェクトの成果を県下に普及させるための体験と広報誌の発行	4,038	3,179	-859
		③「森に親しむ博物館」開催事業 自然や森林に関する巡回展や工作イベント等の開催	3,090	3,090	0
		④森林病虫獣害対策事業 松林保全活動の支援及びニホンジカの森林被害対策を図る	3,988	3,988	0
		⑤アートの森プロジェクト事業 県美術館で県産材により作成した額や展示台等による展示事業	900	897	-3
公募事業	県民の自発的な提案による森林環境保全等の活動に対する支援を行い、県民参加の森林づくり活動の一層の促進を図る。		15,000	13,184	-1,816
		県民参加の森林づくり公募事業	15,000	13,184	-1,816
		○歳出予算総計（B）	472,278	442,652	-29,626

全国植樹祭積立	全国植樹祭積立金（「森とふれあう拠点施設」の整備）		110,000	110,000	0
		えひめ森林公園整備事業費	115,521	113,914	-1,607
		○計（A-B-C）＝残額	13,461	42,900	29,439

※金額については端数調整あり。

① 森林整備推進事業

「えひめ農林水産業振興プラン2021」による森林整備を一層強化するため、国庫補助の対象とならない森林施業等に支援を行い、森林の持つ公益的機能の高度発揮と林業の活性化、ひいては、地球温暖化防止に貢献します。

1　ポイント

「えひめ農林水産業振興プラン 2021」に基づき、森林が持つ地球温暖化防止や水源涵養及び県土保全機能等の高度発揮を図るため、森林整備を積極的に推進し、同プランの目標達成に取り組んでいます。

本事業では、国庫補助の対象とならない森林所有者自ら実施する森林施業等に対する支援を行うことによって、同プランの目標達成に寄与するとともに、森林の保全・整備と林業･木材産業の振興を図るものです。

2　事業内容及び採択要件等

事　業　種	事　業　内　容	採　択　要　件
①　自伐林家支援事業	国庫補助事業の対象とならない森林所有者等が自ら行う森林施業に対し、支援を行う。 （実施主体：森林所有者等）	･国庫補助事業の対象とならない森林所有者自らが実施する森林施業 ・対象施業は、植栽、獣害対策、下刈、間伐、森林作業道開設等 ・１施行地の面積が0.05ha以上
②　未整備森林再生事業	国庫補助事業の対象とならない林業事業体等が行う森林施業等に対し、支援を行う。 （実施主体：森林組合、林業事業体等）	･国庫補助事業の対象とならない林業事業体が実施する森林施業等 ・対象施業は、切捨間伐、森林作業道改良等 ・１施行地の面積が0.10ha以上

3　令和４年度実績

（１）　実施額　　56,442 千円
（２）　実施状況

搬出間伐（四国中央市）

獣害対策（東温市）

枝打（大洲市）

4　事業期間　　令和２年度～令和６年度

5　全体計画

事 業 内 容			R2	R3	R4	R5	R6	計
計画	森林整備面積（ha）		349	308	173	173	173	1,176
	補助金額(千円)		141,768	56,717	56,717	67,000	67,000	389,202
		うち森林環境税(千円)	78,503	56,717	56,717	67,000	67,000	325,937
実績	森林整備面積（ha）		259	148	122			
	補助金額(千円)		140,828	56,098	56,442			
		うち森林環境税(千円)	77,563	56,098	56,442			
実施箇所			県下全域	県下全域	県下全域			

②　集落等山地災害危険地区整備事業

「山地災害危険地区」のうち土砂流出防止機能等が著しく低下し、降雨によって集落等に被害を及ぼす恐れのある地区の森林について、本数調整伐等を実施し、下層植生を導入するなど土砂流出防止機能の高い健全な森林へと誘導します。

1　ポイント

近年、局地集中型豪雨や大規模地震等の異常天然現象が増加する傾向にあり、山地災害の様相が大きく変化していることから、継続的な公共治山事業と併せて、これまで想定していなかった山地災害に対する新たな対応が求められています。

本事業では、公共治山事業として採択されない「山地災害危険地区」のうち土砂流出防止機能等が著しく低下し、降雨等で集落等に被害を及ぼす可能性が高い地区の森林等を緊急に整備して山地災害危険地の解消を図ることしています。

2　事業内容

(1) 渓流タイプ ・本数調整伐（間伐率 40%程度） ・簡易木製構造物（木製ダム・柵工等） ・その他森林機能回復のために必要なもの (2) 山腹タイプ ・本数調整伐（間伐率 40%程度） ・簡易木製構造物（木製土留工、柵工等） ・その他森林機能回復のために必要なもの (3) 機能回復タイプ ・渓流内や既存治山施設に異常堆積した土石や流木等の除去 ・既存治山施設の軽微な修復	**【実施場所】**県が定めている山地災害危険地区であって、民有林治山事業の採択基準を満たさない箇所であること。 **【事業主体】**県 **【採択要件】** 林分が過密化等して土砂流出防止機能等が低下している箇所で、次のいずれかに該当するもの。 ① 渓流タイプ 現に森林が荒廃等して渓流に土砂の流出が認められる箇所で、整備対象森林面積が 10ha 以上、かつ、1箇所の工事費（全体計画額）が 500 万円以上であること。 ② 山腹タイプ 人家５戸以上の集落後背部の森林で、整備対象面積が５ha 以上、かつ、１箇所の工事費（全体計画額）が 250 万円以上であること。 ③ 機能回復タイプ 集落後背部の森林で、台風災害等により、土石や流木等の不安定堆積物が異常堆積し、森林が有する災害防止機能や既存治山施設の機能が低下している箇所であること。

3　令和４年度実績額

（１）実施額　39,314 千円（事務費含む）

（２）実施状況

西条市大保木（大保木）

大洲市肱川町宇和川（小畑井）

森をつくる活動

4　事業期間　　令和２年度　～　令和６年度

5　全体計画

事業内容		R2	R3	R4	R5	R6	計
計画	山地保全面積	70ha	70ha	70ha	70ha	70ha	350ha
	事業費	40,000 千円	40,000 千円	40,000 千円	40,000 千円	40,000 千円	200,000千円
	うち森林環境税	40,000 千円	40,000 千円	40,000 千円	40,000 千円	40,000 千円	200,000千円
実績	山地保全面積	45.19ha	18.86ha	24.41ha			
	作業歩道等	1,233m	0m	515m			
	事業費	38,898 千円	39,255 千円	39,314 千円	千円	千円	千円
	うち森林環境税	38,898 千円	39,255 千円	39,314 千円	千円	千円	千円
実施箇所		四国中央市(1) 西条市(1) 今治市(1) 砥部町(1) 大洲市(2) 西予市(1)	四国中央市(1) 西条市(1) 今治市(1) 久万高原町(1) 大洲市(2)	西条市(1) 今治市(2) 久万高原町(1) 大洲市(2) 西予市(1)			

③ フォレスト・マイスター養成支援事業（一部森林環境税事業）

公益的機能を持つ森林を面的・効率的に整備する林業技術者(ﾌｫﾚｽﾄﾜｰｶｰ)と作業管理者(ﾌｫﾚｽﾄ・ﾏｲｽﾀｰ)を養成するとともに、高度な森林管理技術者及び異業種から参入する事業体を育成する研修や林業事業体と就業希望者とのマッチングを促進するための就業相談会を実施します。

1　ポイント

森林の持つ公益的機能を発揮するためには、適切な森林整備とそれに伴う木材生産の実施、搬出される木材の多面的利用を推進する必要があります。しかし、森林整備を行う林業の担い手は、減少しており、時代の要請に即した林業の担い手の確保が急務となっています。

このため、県では就業初心者に現場作業で必要な基本的知識・技術・資格を取得する研修を実施し、現場作業を行う林業技術者(フォレストワーカー)を養成するとともに、現場リーダー及び現場作業の管理者（フォレスト・マイスター）を養成し、林業の担い手の確保育成を図ります。

また、事業体における安全衛生教育指導を行い得る高度な指導者や森林整備を推進するうえで重要な役割を担うプランナーの養成を行います。

さらに、県内の高校生に対する林業体験研修、異業種から林業界へ新規に参入する事業体等に対する現地研修等を実施するとともに、県内の林業事業体と就業希望者とのマッチングを促進するための就業相談会を開催し、幅広く林業の担い手を確保することとしています。

2　事業内容

(1)ﾌｫﾚｽﾄﾜｰｶｰ養成ｺｰｽ 対象人数　年間７名 【実績１１名】 研修期間　２７日間	森林整備に必要な基本的知識・技術・資格等の習得研修 (緑の雇用担い手確保育成対策事業と共催で実施) ○講習内容：林業の基礎知識、造林育林技術、伐採技術、機械の構造と仕組み、森林病虫獣害の防除 ○取得資格：玉掛技能講習、小型車両系建設機械運転業務特別教育(整地等)、伐木等の業務に係る特別教育、刈払機取扱作業者安全衛生教育、走行集材機械の運転の業務の特別教育
(2)林業架線作業技術ｺｰｽ 対象人数　年間１４名 【実績　９名】 研修期間　３０日間	林業架線作業に必要な基本的知識・技術・資格等の習得研修 ○講習内容：架線知識、架線法令、架線力学、架線設計、架線の架設・撤去、集材機操作、ﾀﾜｰﾔｰﾀﾞ架設・撤去、ｽｲﾝｸﾞﾔｰﾀﾞ架設・撤去、ﾜｲﾔｰﾛｰﾌﾟ実習、架線現場視察 ○取得資格：林業架線作業主任者免許、小型移動式ｸﾚｰﾝ運転技能講習、簡易架線集材装置等の運転の特別教育、機械集材装置の運転の業務特別教育、はい作業従事者安全教育
(3)高性能林業機械作業技術ｺｰｽ 対象人数　年間１２名 【実績　４名】 研修期間　３５日間	高性能林業機械活用およびコスト管理に必要な知識・技術･資格等の研修 ○講習内容：高性能林業機械の基本操作、高性能林業機械の構造と仕組み、ｽｲﾝｸﾞﾔｰﾀﾞ架設･撤収、ｼｽﾃﾑ運用実習、間伐作業の技術・経営･ｺｽﾄ管理 ○取得資格：大型自動車運転免許、車両系建設機械（整地等・解体）技能講習、不整地運搬車技能講習、ﾌｫｰｸﾘﾌﾄ運転技能講習、はい作業主任者技能講習、走行集材機械の運転の業務の特別教育、伐木等機械の運転業務の特別教育、簡易架線集材装置等の運転の特別教育
(4)安全衛生教育指導者育成ｺｰｽ 対象人数　年間５名 【実績　７名】 研修期間　３日間	安全衛生及び技術向上に関する高度な指導者の養成研修 ○講習内容 伐木等作業に関する安全管理と KYT 活動の進め方
(5)林業新規就業者確保促進事業 対象人数　相談会４０名 【実績６６名】	林業の新規就業者を確保するため、就業相談会「森林の仕事ガイダンス」を開催する。 ○就業相談会：年間２回開催　林業事業体等による林業の相談・説明
(6)次世代林業育成研修 対象人数　年間１００名 【実績１９８名】	県内農林高校生に対して、林業への就業意欲向上を目的として、林業作業の基礎的体験研修を行い、林業に対する理解の促進を図る。
(7)異業種等新規参入促進支援事業 対象人数　年間１０名 【実績　８名】	異業種等から新規参入する事業体を対象に、林業の基礎知識等の研修会及び林業従事者を養成する研修を実施するとともに、先進林業事業体の受入れ研修に参加させる。
(8)林業事業体経営改善指導事業 対象人数　年間５０名 【実績３７名】	林業事業体に対し事業の合理化や経営改善に関する指導等を実施。

３　令和４年度実績

（１）実施額

18, 066 千円（全体事業費 20, 662 千円）

（２）実施状況

フォレストワーカー養成コース

林業架線作業技術コース

高性能林業機械作業技術コース

安全衛生教育指導者育成コース

４　事業期間

令和２年度　～　令和６年度

５　全体計画

事業内容		R2	R3	R4	R5	R6	計
計画	森林整備面積	４０ha	４０ha	４０ha	４０ha	４０ha	２００ha
	研修受講者数	２５８人	２５０人	２５８人	１５８人	１５８人	１，０８２人
	事業費	21, 561 千円	21, 311 千円	28, 416 千円	26, 950 千円	26, 950 千円	125, 188 千円
	うち森林環境税	18, 839 千円	18, 639 千円	18, 639 千円	17, 323 千円	17, 323 千円	90, 763 千円
実績	森林整備面積	４４ha	５８ha	６２ha			
	研修受講者数	２６６人	３２３人	３３９人			
	事業費	20, 000 千円	19, 905 千円	20, 662千円			千円
	うち森林環境税	17, 278 千円	17, 480千円	18, 066千円			千円
実施箇所		県内一円	県内一円	県内一円	県内一円	県内一円	

④ 有害鳥獣総合捕獲事業（一部森林環境税事業）

ニホンジカによる農林水産業等に係る被害を軽減し、森林等の公益的機能の保全や農林業従事者の生産意欲の減退を防ぐため、市町が行うニホンジカ捕獲事業を支援します。

1　ポイント

近年、ニホンジカによる森林被害や農作物被害が深刻化しているため、市町が行うニホンジカ捕獲事業を支援し、ニホンジカの捕獲を強化します。

2　事業内容

有害鳥獣総合捕獲事業

①補助対象

市町が、ニホンジカの捕獲を強化するため、銃器又はわなによりニホンジカを捕獲した者に対し、奨励金の交付等を行うのに要する経費に対して補助

②事業実施主体　市町

③補助率　　１／２以内

④基準経費　　10,000 円／頭

3　令和４年度実績

42,228 千円（全体事業費 100,747 千円）

4　事業期間

令和２年度　～　令和６年度

5　全体計画

事業内容		R2	R3	R4	R5	R6	計
計画	捕獲計画数（全体）	8,315頭	8,315頭	10,800頭	10,800頭	10,800頭	49,030頭
	捕獲計画数（森林環境税分）	7,871頭	7,871頭	10,356頭	10,356頭	10,356頭	46,810頭
	事業費	83,150 千円	83,150 千円	108,000 千円	108,000 千円	108,000 千円	490,300千円
	うち森林環境税	39,355 千円	39,355 千円	51,780 千円	51,780 千円	51,780 千円	234,050千円
実績	捕獲実績数（全体）	8,065頭	9,447頭	8,638頭			
	捕獲実績数（森林環境税分）	8,065頭	9,447頭	8,638頭			
	事業費	89,864 千円	110,165 千円	100,747 千円			
	うち森林環境税	39,355 千円	39,355千円	42,228千円			
実施箇所		18市町 松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、西予市、東温市、砥部町、久万高原町、内子町、伊方町、松野町、鬼北町、愛南町	18市町 松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、西予市、東温市、砥部町、久万高原町、内子町、伊方町、松野町、鬼北町、愛南町	18市町 松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、西予市、東温市、砥部町、久万高原町、内子町、伊方町、松野町、鬼北町、愛南町	ニホンジカにより森林被害及び農作物被害を受けている市町	ニホンジカにより森林被害及び農作物被害を受けている市町	

⑤ 特定鳥獣保護管理計画推進事業（一部森林環境税事業）

ニホンジカによる生態系被害等を抑制するため、個体数を適正に推定するための生息調査等を実施するとともに、これまで捕獲が進まなかった高標高地域等での、個体数調整を目的とした計画的な捕獲を実施しました。また、イノシシについても捕獲等が進んでいない自然公園を対象として捕獲を実施しました。

1　ポイント

ニホンジカによる農林業被害等が深刻な状況にあり、平成 25 年 12 月、環境省と農林水産省が「抜本的な鳥獣捕獲強化対策」をとりまとめ、ニホンジカの個体群を令和５年度までに半減させることを目指しています。

県では適正管理計画を策定し、増えすぎたニホンジカを適正な生息数にするよう、生息密度調査等を実施し、個体数を推定するとともに、捕獲目標の達成のため、認定鳥獣捕獲等事業者等による積極的な個体調整（捕獲）を推進しました。また、イノシシについても捕獲等が進んでいない自然公園を対象として捕獲を実施しました。

2　事業内容

（1）ニホンジカの食害による自然植生の喪失を早期かつ確実に抑制・防止するため、石鎚山系及び石鎚山系に侵入が危惧される東予東部地域、東予西部・中予北東部地域の個体数調整を行うとともに、被害の著しい南予南部地域の個体数調整を、集中的かつ広域的に実施しました。またイノシシについては、捕獲作業が進んでいない自然公園（今治市塔ノ峰園地周辺）で捕獲作業を実施しました。

ニホンジカ捕獲実施個所

イノシシ捕獲実施個所

（2）ニホンジカ、イノシシの生活環境、農林業及び生態系に係る被害への対策に寄与するため、生息密度の推定を行いました。ニホンジカについては、県下 40 ルートでの糞塊密度調査の結果や生息頭数等から、イノシシについては、捕獲頭数等をもとに算出しました。

3　令和４年度実績

（1）　実施額

4, 661 千円（全体事業費 20, 629 千円）

（2）　実施状況

4　事業期間　　令和２年度　～　令和６年度

5　全体計画

事業内容		R2	R3	R4	R5	R6	計
計画	調査地点数（生息密度）	40	40	40	40	40	200
	調査地点数（植物被害）	17	17	17	17	17	85
	捕獲従事者数（延べ）	400人	400人	400人	400人	400人	2,000人
	事業費	30,660 千円	28,500 千円	28,500 千円	30,000 千円	30,000 千円	147,660千円
	うち森林環境税	9,200 千円	6,900 千円	6,900 千円	6,900 千円	6,900 千円	36,800千円
実績	調査地点数（生息密度）	40	40	40			
	調査地点数（植物被害）	17	40	―			
	捕獲従事者数（延べ）	563人	139人	260人			
	事業費	27,567 千円	21,157千円	20,629千円			
	うち森林環境税	8,866 千円	3,905千円	4,661千円			
実施箇所		［生息密度調査］県内 40 地点 ［植生衰退度調査］県内 80 地点 ［捕獲箇所］ 石鎚山系、東予東部地域、東予西部・中予北東部地域、南予南部地域	［生息密度調査］県内40地点 ［植生衰退度調査］県内40地点 ［捕獲箇所：シカ］ 石鎚山系、東予東部地域、東予西部・中予北東部地域、南予南部地域 ［捕獲箇所：イノシシ］ 今治市（塔ノ峰園地周辺）	［生息密度調査］県内40地点 ［捕獲箇所：シカ］ 石鎚山系、東予東部地域、東予西部・中予北東部地域、南予南部地域 ［捕獲箇所：イノシシ］ 今治市（塔ノ峰園地周辺）			

⑥ 優良種苗確保事業（一部森林環境税事業）

林木の品種改良、種子採取源の整備等を行い、優良な種穂の供給を確保するとともに、林業躍進プロジェクトの推進に向けて、低コスト再造林の実現が課題となっていることから、通年植栽が可能なコンテナ苗、成長等が優れた第２世代精英樹（特定母樹・エリートツリー）、国が推進している花粉症対策品種苗木の利用拡大の促進を積極的に行います。

１　ポイント

私たちの生活を守る森林は、植え付けた苗木が立派に成長し成林するまでに、数十年を要します。

この間、保育作業をはじめ多くの人手と経費が投入され、厳しい自然環境のもとで森林は、病害虫や気象害の危険にさらされることになります。植え替えなどのやり直しができないことから、植え付けられる苗木の優劣は健全な森林を造成する上で大きな要因となってきます。

このため、県では優良種苗の安定供給を図るため、成長の優れた第２世代精英樹（特定母樹・エリートツリー）、花粉症対策品種、抵抗性マツなどの採取源を整備し、県民のニーズに対応した種苗の供給や苗木生産技術等の普及し、活力のある林業を目指します。

２　事業内容

事　　業　　名	事　業　内　容
育種母樹林整備事業	県採種園（新居浜市・東温市・内子町）内の採種用母樹の育成及び着花結実を促進するためのジベレリン処理等を実施。
花粉症対策品種等育成推進事業	花粉症対策品種の採穂園管理及びその普及啓発・育苗技術習得を実施。
苗木供給体制整備事業（※森林環境税事業）	第２世代精英樹や花粉症対策品種からなるミニチュア採種園の整備や、コンテナ苗木の生産拡大等の支援を実施。
種子採取事業（※森林環境税事業）	林業躍進プロジェクト等に基づき増産する優良種苗確保に必要な種子の採取を実施。

３　令和４年度実績

（１）　実施額　　25,481 千円（全体事業費 37,802 千円）

（２）　実施状況

ミニチュア採種園（御槇）

コンテナ苗生産状況（東温市）

４　事業期間　　令和２年度～令和６年度

５　全体計画

事　業　内　容		R2	R3	R4	R5	R6	計
計画	育種母樹林整備事業 ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝ処理	220 本	220 本	220 本	220 本	220 本	1,100 本
	花粉症対策品種等育成推進事業	一式	一式	一式	一式	一式	一式
	苗木供給体制整備事業 特定母樹	ｽｷﾞ 300 本 ﾋﾉｷ 100 本	ｽｷﾞ 400 本 ﾋﾉｷ 200 本	ﾋﾉｷ 416 本	ﾋﾉｷ 300 本	ﾋﾉｷ 100 本	ｽｷﾞ 700 本 ﾋﾉｷ 1,200 本
		400 本	600 本	500 本	300 本	100 本	1,900 本
	種子採取事業	一式	一式	一式	一式	一式	一式
	金　額　（千円）	40,015	40,128	38,654	40,070	40,070	198,937
	うち森林環境税（千円）	31,729	31,027	28,436	29,303	31,729	152,224
実績	育種母樹林整備事業 ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝ処理	220	220 本	220 本			
	花粉症対策品種等育成推進事業	一式	一式	一式			
	苗木供給体制整備事業 特定母樹	ｽｷﾞ 198 本 ﾋﾉｷ 11 本	ｽｷﾞ 226 本 ﾋﾉｷ 6 本	ﾋﾉｷ 416 本			
		209 本	229 本	416 本			
	種子採取事業	一式	一式	一式			
	金　額　（千円）	36,330	32,817	37,802			
	うち森林環境税（千円）	28,931	25,508	25,481			
実施箇所		県内一円	県内一円	県内一円			

⑦　林業躍進プロジェクト推進事業（一部森林環境税事業）

「えひめ農林水産業振興プラン2021」の目標達成に向けた「林業躍進プロジェクト(第２期）」に取り組むとともに、県民等に対し森林の理解を深める機会を創出しました。

１　ポイント

令和３年３月に策定した「えひめ農林水産業振興プラン 2021」及びその実行プログラムである「林業躍進プロジェクト（第２期）」の進行管理や県民との意見交換のための推進会議を開催しました。

また、持続可能な森林経営の達成に資する「森林認証材」の販売体制を強化するとともに、ホームページの拡充等により、県民や企業に対し、森林・林業に対する理解を深める機会を創出し、森づくりへの参画を促進しました。

２　事業内容

項　　目	取　　組　　内　　容
(1) 林業躍進プロジェクト推進会議の開催	広く県民の意見を聴取するため、各地域における推進会議を開催（参集者：市町、林業団体、森林所有者、製材・加工・流通業者等）
(2) 森林認証材消費販売強化対策事業	民間レベルでの認知度向上に向けた、認証材製品の開発や円滑な認証材流通・販売を促すための検討会を開催
(3) カーボンオフセット普及啓発事業	カーボン・オフセットの認知度向上と企業等におけるＪ－ＶＥＲを活用した社会貢献活動を促すため、普及啓発活動を実施。
(4)「えひめ森林・林業」情報発信事業	えひめの森林･林業に対するイメージアップを図るため、“えひめの森林･林業”ページを拡充し、様々な情報を配信。

３　令和４度実績

（１）実績額　　１，７５７千円（全体事業費　２，１５６千円）

（２）実施状況

林業躍進プロジェクト推進会議

J-VER 社会貢献活動に対する表彰

４　事業期間　　令和２年度　～　令和６年度

５　全体計画

事業内容		R2	R3	R4	R5	R6	計
計画	林業躍進プロジェクト推進会議の開催	４回	４回	４回	４回	４回	20回
	森林管理（FM）面積（増加量）		3,700ha	3,700ha	3,700ha	3,700ha	14,800ha
	事業費	818 千円	3,513 千円	3,449 千円	2,971 千円	2,971 千円	13,722千円
	うち森林環境税	428 千円	2,156 千円	2,156 千円	1,678 千円	1,678 千円	8,096千円
実績	林業躍進プロジェクト推進会議の開催	４回	１回	４回	回	－	回
	森林管理（FM）面積（増加量）		3,152ha	4,578ha	ha	ha	ha
	事業費	323 千円	2,190 千円	2,922 千円	千円	千円	千円
	うち森林環境税	266 千円	1,260 千円	1,757 千円	千円	千円	千円
実施箇所		東予地方局、中予地方局、南予地方局（本局・八幡浜支局）	八幡浜市	東予地方局、中予地方局、南予地方局（本局・八幡浜支局）			

⑧ 林業架線作業促進事業

「林業躍進プロジェクト」の目標達成に向けて、大面積で効率的な木材生産が可能となる林業架線作業への支援を行い、林業の成長産業化と災害に強い森林づくりに取り組みます。

1　ポイント

県では、平成 26 年に「林業躍進プロジェクト」を立ち上げ、成熟した人工林資源の有効活用と県産材の増産に向け、主伐の計画的・段階的な導入を図るため、高性能林業機械の導入及び森林作業道の整備など車輌系作業を中心に推進してきました。

しかしながら、近年、頻発する集中豪雨等による森林作業道の崩壊が森林荒廃を引き起こすなど、車輌系作業での森林整備には限界があることから、路網整備が比較的困難な急峻地等において、林業事業体が架線作業に向けた取り組みに要する経費の一部を支援することにより、林業の成長産業化を促進するとともに、災害に強い森林づくりに取り組みます。

2　事業内容

路網整備が比較的困難な急峻地等において、林業架線作業の大規模化を促進するため、林業事業体等が架線作業に取り組む経費の一部を支援することにより、林業の成長産業化と災害に強い森林づくりに取り組む。

【補助対象】　架線架設・撤去（林業用架線の架設・撤去等）
【事業主体】　森林組合、林業事業体等

3　令和４年度実績

（１）実施額　　20,869 千円
（２）実施状況

作業状況（西条市）

作業状況（久万高原町）

4　事業期間　　令和２年度～令和４年度

5　全体計画

事業内容			R2	R3	R4	計
計画	林業架線作業促進事業		30 箇所	30 箇所	30 箇所	90 箇所
	事　業　費		25,080 千円	24,240 千円	23,190 千円	72,510 千円
		うち森林環境税	25,080 千円	24,240 千円	23,190 千円	72,510 千円
実績	林業架線作業促進事業		33 箇所	32 箇所	30 箇所	95 箇所
	事　業　費		24,658 千円	24,240 千円	20,869 千円	69,767 千円
		うち森林環境税	24,658 千円	24,240 千円	20,869 千円	69,767 千円
実施箇所			県下全域	県下全域	県下全域	

⑨県産大径材生産促進事業（森林環境税事業）

スギ・ヒノキ人工林で進む高齢級化により増加する県産大径材の更なる活用を図るため、林業機械の改良、集積場所の確保やサプライチェーン構築のための機材導入など、持続的な林業経営の確立を目指すため先行して取り組む事業体に対し支援を行いました。

1　ポイント

県内のスギ・ヒノキ人工林においては高齢級化・大径材化が進んでおり、その現場から生産される大径材は年々増加傾向にあります。これら大径材のより有効な活用を図るためには、効率的かつ安定的に生産・流通させるシステムや基盤整備の構築が必要となっています。

こうした大径材生産に現場レベルで対応出来るよう、林内路網と林業機械の改良、集積場所の確保や、サプライチェーン構築のための生産管理といった流通設備の導入など、先行的に取り組もうとしている事業体に対して支援を行いました。

2　事業内容

項　　目	取　組　内　容
(1) 生産基盤整備支援	大径材に対応した林内路網の拡幅や林業機械の改良に要する経費の一部を支援。
(2) 集積・保管場所確保支援	大径材用途の多様化に対応するため、集積・保管・仕分け場所（山土場や中間土場など）の確保や整備に要する経費の一部を支援。
(3) サプライチェーン構築支援	大径材の生産管理用のＩＣＴ機材導入に要する経費の一部を支援

3　令和４年度実績

（１）実績額　　７，９３４千円（事業費　７，９３４千円）

（２）実施状況

ｻﾌﾟﾗｲﾁｪｰﾝ構築（いしづち森林組合）

集積・保管場所支援（内子町森林組合）

4　事業期間

令和４年度～令和６年度

5　全体計画

事業内容			R４	R５	R６	計
計画	大径材に係る土場整備数		5	5	5	15
	事　業　費		7,993 千円	7,993 千円	7,993 千円	23,979 千円
		うち森林環境税	7,993 千円	7,993 千円	7,993 千円	23,979 千円
実績	大径材に係る土場整備数		3	－	－	
	事　業　費		7,934 千円	－ 千円	－ 千円	千円
		うち森林環境税	7,934 千円	－ 千円	－ 千円	千円
実施事業者数			5	－	－	

① 木質バイオマス利用促進事業

木質バイオマスの利用拡大を促進するとともに、林地残材を資源化する体制の構築を支援し、中山間地域を支える林業の振興、木材の利用拡大を図ります。

1　ポイント

森林整備により発生し、林内に放置されている林地残材等の木質バイオマス利用を進めるため、木質バイオマスの搬出等に係る経費の支援を行い、製紙用チップや木質ペレット等の原料として安定的に利用する事業を促進するとととともに、未利用材の生産流通システムの構築・検証を支援します。

2　事業内容

（1）木質バイオマス利用促進事業

①木質バイオマス有効活用事業

製材等の用途に不向きな低質材の利用を進めるため、県内における製紙、木質ペレット、木炭等の原料需要に対する県産木質バイオマス資源の安定供給にむけた取組を支援します。

事業主体：製紙原料チップ、木質ペレット、木炭等の製造施設等で、安定的に木質バイオマス利用を行う者。
また、林業事業体等の上記の製造施設に対して、安定的に木質バイオマスの供給を行う者。

補助対象：間伐等を実施した森林内から搬出し、製紙原料チップ、木質ペレット、木炭等の製品原料として、安定的に利用される木質バイオマス資源

補助金額：3,000 千円　（定額 500 円/m3）

②林地残材資源化促進事業

採算が合わない為に放置されている不定形な林地残材を木質バイオマス発電用途にむけ供給する取組を支援します。

事業主体：林業事業等の林地残材の資源化に取組む者

補助対象：間伐等を実施した森林内で発生し、木質バイオマス発電所に重量取引で供給される林地残材

補助金額：17,000 千円　850 円/ｔ以内：基準単価(8,000 円/ｔ)と買取単価の差額 1/2 以内)

③木質バイオマス活用革新的取組支援事業

木質バイオマスの生産・流通における更なる低コスト化にむけた試験・検証的取組を支援します。

事業主体：林業事業体等から公募により２事業体を支援予定

補助金額：500 千円以内／件

（2）木質バイオマス普及促進事業

最新の木質バイオマス集荷モデル等の情報を収集し、県内での木質バイオマス利用促進にむけた普及啓発を実施します。

3　令和４年度実績

（1）実施額　　20,222 千円

（2）実施状況

①　木質バイオマス有効活用事業[3,000 千円]

製材等の用途に不向きな低質材の利用を進めるため、木質バイオマス搬出利用経費に対し支援を行った。(6,000 ㎥)

②　林地残材資源化促進事業[17,000 千円]

林内に放置されている林地残材の資源化を進めるため、林地残材の搬出利用経費に対し支援を行った。(30,405ｔ)

（3）事業イメージ

4　事業期間

令和２年度　～　令和６年度

5　全体計画

事業内容		R2	R3	R4	R5	R6	計
計画	低質材の有効利用量	6, 000m3	6, 000m3	6, 000m3	6, 000m3	6, 000m3	30, 000m3
	林地残材等の資源化量	17, 000t	17, 000t	20, 000 t	24, 000 t	24, 000 t	102, 000 t
	事業費	21, 230 千円	21, 230 千円	21, 230 千円	24, 730 千円	24, 730 千円	113, 150千円
	うち森林環境税	21, 230 千円	21, 230 千円	21, 230 千円	24, 730 千円	24, 730 千円	113, 150千円
実績	低質材の有効利用量	4, 900m3	6, 000m3	6, 000m3	m3	m3	
	林地残材等の資源化量	31, 833t	29, 799t	30, 405t	t	t	
	事業費	21, 103千円	20, 580千円	20, 222千円	千円	千円	
	うち森林環境税	21, 103千円	20, 580千円	20, 222千円	千円	千円	
実施箇所		県内	県内	県内			

②　ＣＬＴ等建築物建設促進事業

地域材を利用した公共施設の木造化・木質化や、本県が全国に先駆けて普及を図っているＣＬＴ(直交集成板)の利用を支援し、県産材の更なる利用促進を図り、脱炭素社会の実現を目指します。

１　ポイント

県内で製造されるＣＬＴ等県産材を活用し、民間のＣＬＴ建築物への建設・設計支援や設計技術者等の育成、一般県民への普及･PR を推進します。

２　事業内容

（１）ＣＬＴ建築物建設促進事業

① ＣＬＴ建築物支援事業（事業主体：民間事業者）

ＣＬＴの需要拡大のため、これまで木材が使われていなかった民間の商業施設をはじめとする中高層建築物や低層の非住宅分野における建設・設計に対し支援を行い、ＣＬＴ建築物の建設を促進させることで、ＣＬＴの需要拡大を図ります。

事業区分	事業内容	補助単価、補助率	補助金の上限
建設支援事業	CLT 建築物の建設に対する補助	CLT 使用量に対する定額補助(90 千円/㎥)	9,000 千円/施設
設計支援事業	CLT 建築物の設計に対する補助	CLT 建築物の設計に要する経費の 1/2 以内	2,000 千円/施設

② ＣＬＴ建築物普及促進事業（事業主体：県（委託先：愛媛県ＣＬＴ普及協議会））

設計士、施工業者及び加工業者等の実務者を対象に実務的な体験型セミナーを開催し、ＣＬＴに関する実務者の育成を図るほか、一般消費者等への普及 PR により、ＣＬＴ建築物の建設を促進します。

③ ＣＬＴ普及促進情報整備事業（事業主体：県）

既存のＣＬＴ建築物における住環境評価を検証し、結果を販売促進活動に活用することで、ＣＬＴ建築物の建設促進を図ります。

④ 普及促進事業（事業主体：県）

（一社）日本ＣＬＴ協会等が実施する研修会やセミナー等の各種活動に参加するほか、普及効果の高いＣＬＴ建築物の建設事例や各種工法の情報収集を実施し、県内でのＣＬＴ利用を普及・促進します。

（２）公共施設木材利用推進事業（事業主体：市町）

地域材を利用した公共施設の整備や内装の木質化及び木製屋外施設整備に対して支援を行い、県民に快適な空間を提供するとともに、直接木を見て触れることにより、木材利用に対する理解を深めていきます。

区分	事業内容	補助単価、補助率	補助金の上限
木造公共施設整備	延床面積 200 ㎡以上(CLT 建築物：100 ㎡以上)の公共施設の木造化に対する補助	木造化に要する経費の 1/2 以内を床面積当り 20 千円/㎡(CLT 建築物：40 千円/㎡)	8,000 千円/施設(CLT 建築物：16,000 千円/施設)
公共施設内装木質化	新設の非木造施設の内装における木工事費に対する補助	木工事費の 1/2 以内	5,000 千円/施設
木製屋外施設整備	公共施設における木造屋外施設の整備に対する補助	木工事費の 1/2 以内	3,000 千円/施設
小規模木造施設整備	延床面積 200 ㎡未満の小規模な公共木造施設の整備に係る木工事費に対する補助	木工事費の 1/2 以内	3,000 千円/施設

３　令和４年度実績

（１）実施額　　57,480 千円

（２）実施状況

○ＣＬＴ建築物支援事業

ＣＬＴの建設を促進させるため、民間事業者が建設するシンボリックなＣＬＴ建築物の設計・建設に対する支援を行いました。（設計３件、建設４件）

木をつかう活動

○ＣＬＴ建築物普及促進事業

市町や設計実務者等を対象とした研修会及び体験型セミナーを実施し、ＣＬＴ建築物の建設促進を図りました。

また、ＪＲ松山駅待合室（木製家具等）のデザイン検討を行うとともに、ＣＬＴを使用した３階建て集合住宅の推進を図り、一般消費者に対してＣＬＴ建築物の普及・ＰＲ活動を行いました。

○ＣＬＴ普及促進情報整備事業

既存のＣＬＴ建築物における住環境性能の環境評価を検証し、販路開拓のツールとして活用を図りました。

○普及促進事業

ＣＬＴ加工施設の導入や建設に向けて先進事例を調査するとともに、各種イベント等において、ＣＬＴの利点や活用事例などを紹介し、普及啓発に努めました。

ＣＬＴ建築物支援事業
（ＣＬＴパネル工法による木材加工場）

普及促進事業
（体験型設計セミナーの開催）

○公共施設木材利用推進事業

事業内容	事業主体	施設名	施設概要	木材使用量	補助金額
木造公共施設整備事業	西予市	土居地区地域づくり活動センター	木造平屋（694 ㎡）	203 ㎥ (CLT55 ㎥)	16,000 千円
	宇和島市	石応公民館	木造平屋（365 ㎡）	99 ㎥	7,295 千円
小規模木造施設整備事業	松山市	向陽第２公園四阿	木造四阿　１棟	3 ㎥	2,325 千円
計		３施設		305 ㎥ (CLT55 ㎥)	25,620 千円

土居地区地域づくり活動センター（西予市）

石応公民館（宇和島市）

４　事業期間　　令和２年度～令和６年度

5　全体計画

事業内容		R2	R3	R4	R5	R6	計
計画	ＣＬＴ建築物数	5施設	5施設	5施設	5施設	5施設	25施設
	セミナー回数	5回	2回	3回	3回	3回	16回
	公共施設数	5施設	7施設	5施設	5施設	5施設	27施設
	事業費	67,088千円	92,134千円	60,348千円	58,376千円	58,376千円	347,322千円
	うち森林環境税	67,088千円	92,134千円	60,348千円	58,376千円	58,376千円	347,322千円
実績	ＣＬＴ建築物数	4施設	4施設	3施設			
	セミナー回数	2回	2回	3回			
	公共施設数	4施設	7施設	3施設			
	事業費	57,524 千円	84,627 千円	57,480 千円			
	うち森林環境税	57,524 千円	84,627 千円	57,480 千円			
実施箇所		○ＣＬＴ建築物建設促進事業 店舗　1施設 事務所　2施設 加工施設　1施設 ○木造公共施設整備事業 事務所　1施設 認定こども園　1施設 ○小規模木造施設整備事業 公園施設　1施設 学校施設　1施設	○ＣＬＴ建築物建設促進事業 研修施設　1施設 共同住宅　1施設 展示施設　1施設 加工施設　1施設 ○木造公共施設整備事業 児童館　1施設 学校施設　2施設 公営住宅　1施設 保育所　1施設 ○小規模木造施設整備事業 公園施設　1施設 倉庫　1施設	○ＣＬＴ建築物建設促進事業 木質バイオマス 発電施設　1施設 加工施設　1施設 保養施設　1施設 ○木造公共施設整備事業 公民館　2施設 ○小規模木造施設整備事業 公園施設　1施設			

③ 木の香る公園施設整備事業

利用者に優しい木材を使用した公園施設の整備を進めていきます。

1　ポイント

「木をつかう」事業の一環として、県管理の都市公園において、休憩所、ベンチや分煙パーテーションなどの新たな施設を木製品で整備することにより、利用者が優しく暖かみを感じることができる公園の整備を進めるとともに、景観的にも周囲の樹木と調和した緑豊かな安らぎ空間を提供するものである。

※県管理の都市公園
県営総合運動公園（とべ動物園を含む）、道後公園、南予レクリエーション都市公園

2　事業内容

○　事業箇所　　愛媛県営総合運動公園
（松山市上野町乙 46）
○　施設概要　　分煙パーテーション　１基
○　整備効果　　県営総合運動公園に木製の分煙パーテーションを設置することは、公園利用者にうるおいとやすらぎの空間を提供するとともに、周囲樹木等と調和した景観の向上が期待できる。
　また、さまざまな人々が集い、ふれあいの場となる都市公園に間伐材を利用した設を設置することで、木材に対する理解や関心を深めることになり、木材の利用促進にも寄与する。

3　令和４年度実績

（1）　実施額　　2,000 千円
（2）　実施状況

公園名・地区名	事業主体	事　業　内　容	事業費	備　考
愛媛県営総合運動公園	愛媛県	分煙パーテーション	2,000 千円	
計			2,000 千円	

木をつかう活動

４　事業期間　　令和２年度　～　令和６年度

５　全体計画

事業内容		R2	R3	R4	R5	R6	計
計画	ふれあう人数	71,300人	36,800人	72,400人	36,800人	110,000人	327,300人
	木材使用量（m3）	0.05	7	0.3	13	13	52
	事業費	2,500 千円	2,000 千円	2,000 千円	2,000 千円	5,000 千円	13,500千円
	うち森林環境税	2,500 千円	2,000 千円	2,000 千円	2,000 千円	5,000 千円	13,500千円
実績	ふれあう人数	32,400人	21,500人	50,400人			
	木材使用量（m3）	0.05	7	0.21			
	事業費	2,500 千円	2,000 千円	2,000 千円			
	うち森林環境税	2,500 千円	2,000 千円	2,000 千円			
実施箇所		県営総合運動公園（分煙ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ）	南レク第１号公園（パーゴラ）	県営総合運動公園（分煙ﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ）			

④ えひめ材住宅普及啓発事業

県産材や木造住宅の良さを普及啓発する相談窓口の開設・運営や県産材製品を利用する住宅等の新築やリフォーム、工務店等が実施する県産材の普及PR活動を支援し、県産材の需要拡大を図ります。

1　ポイント

木材や木造住宅の良さを普及啓発する相談窓口の開設・運営や良質な県産材製品を利用する住宅等の新築やリフォーム、工務店等が実施する県産材の普及 PR 活動を支援するとともに、住宅等における県産材の需要拡大を図り、木材利用による持続的な森林整備を推進します。

2　事業内容

（1）木と暮らしの相談窓口開設支援事業

木造住宅等に関する相談窓口を開設し、県産材や木造住宅の良さを普及啓発する活動を支援します。

①相談窓口の設置（常設）　②研修会等の開催（設計・施工者向け）　③出前木材利用相談窓口
④見学会の開催（消費者向け）　⑤住宅関係の情報発信（イベント出展、ＨＰ等）　⑥木をつかう教育等の促進

（2）えひめ材の家づくり促進支援事業

木造住宅を建設する施主に対して県産柱材を無償提供し、県産材の利用拡大を促進します。

○提供柱材　　１棟当り 64 本以内：（県産材）147 千円/件、支援件数 250 件
（県産森林認証材）179 千円/件、支援件数 50 件

（3）住宅等リフォーム木材利用促進事業

個人住宅や店舗等のリフォームを行う施主に対して、県産材製品の利用を支援します。

○支援内容　　住宅等１件当り 100 千円（下限）～ 140 千円（上限）、支援棟数 85 棟

（4）外構施設木材利用促進事業

個人住宅や店舗等に木製外構施設を設置する施主に対して、県産材製品の利用を支援します。

○支援内容　　住宅等１件当り 100 千円（下限）～ 140 千円（上限）、支援棟数 20 棟

3　令和４年度実績

（1）実施額　　70,646 千円

（2）実施状況

○木と暮らしの相談窓口の開設
相談受付時間　9:00～17:00（休館日：日、祝祭日）
木造住宅に関する専門相談（755 件）

○えひめ材の家づくり促進支援事業
木造住宅を建設する施主に対して、県産柱材 64 本を無償提供（345 棟）

○住宅等リフォーム木材利用促進事業
個人住宅や店舗等のリフォームを行う施主に対して、県産材製品の利用を支援（56 棟）

○外構施設木材利用促進事業
個人住宅や店舗等に木製外構施設を設置する施主に対して、県産材製品の利用を支援（22 棟）

えひめ材の家づくり促進支援事業

えひめ材の家づくり促進支援事業

住宅等リフォーム木材利用促進事業

外構施設木材利用促進事業

4　事業期間　　令和２年度～令和６年度

5　全体計画

事業内容		R２	R３	R４	R５	R６	計
計画	相談窓口相談件数	600件	600件	600件	600件	600件	3,000件
	柱材提供件数	300件	300件	300件	300件	300件	1,500件
	住宅等ﾘﾌｫｰﾑ木材利用件数	100件	85件	85件	85件	85件	440件
	外構施設木材利用件数	20 件	20 件	20 件	20 件	20 件	100 件
	県産材普及 PR 実施件数	－	5 件	5 件	－	－	10 件
	事業費	72,386 千円	71,332 千円	71,332 千円	70,373 千円	70,373 千円	355,796 千円
	うち森林環境税	72,386 千円	71,332 千円	71,332 千円	70,373 千円	70,373 千円	355,796 千円
実績	相談窓口相談件数	900 件	727件	755 件	件	件	件
	柱材提供件数	318 件	350件	345件	件	件	件
	住宅等ﾘﾌｫｰﾑ木材利用件数	91 件	52件	56件	件	件	件
	外構施設木材利用件数	34 件	25 件	22 件	件	件	件
	県産材普及 PR 実施件数	－	4 件	2 件	件	件	件
	事業費	72,206 千円	70,943 千円	70,646 千円	千円	千円	千円
	うち森林環境税	72,206 千円	70,943 千円	70,646 千円	千円	千円	千円
実施箇所		県内	県内	県内			

⑤ 愛媛県産材製品市場開拓促進事業

信頼性のある県産材の販売体制整備や大消費地での市場開拓に対して支援するとともに、木材の新たな利用用途開発を支援することで、林業経営の安定と森林整備を推進します。

1　ポイント

愛媛県産材製品市場開拓協議会が行う３大都市圏等の大消費地における愛媛県産材やＣＬＴの販路拡大を支援するとともに、有力な木材需用者に対する知事トップセールスやマッチング商談会を実施し、県産材の需要拡大を促進します。

2　事業内容

（１）販売体制整備事業【事業主体：愛媛県産材製品市場開拓協議会】
　○３大都市圏等における大手商社・住宅メーカー、設計事務所等に対するセールス等の実施
　○県産材製品の販売の体制整備

（２）愛媛県産材販売促進事業【事業主体：愛媛県(一部委託(愛媛県産材製品市場開拓協議会))】
　○首都圏の大手商社、住宅メーカー等を対象にマッチング商談会を実施するとともに、展示会等への出展により、効率的に商談機会を創出するとともに、有力木材需用者への知事トップセールスを実施するなど、県産材製品の販路開拓を実施します。

（３）新たな県産材利用促進事業【事業主体：民間事業者等】
　○県産材を使用した新商品や利用方法の開発に取り組もうとする民間企業への支援
　○新たな県産材の利用方法等に関する説明会を実施

3　令和４年度実績

（１）実施額　　13,534 千円

（２）実施状況

○販売体制整備事業
　大手商社・プレカット工事等に対する営業活動に支援し、新たな販路拡大を行いました。

○愛媛県産材販売促進事業
　愛媛県産材のＰＲのため、首都圏等大消費地で開催される展示会に出展しました。
　・非住宅 木造建築フェア 2022(R4.6.16～17)に出展しました。
　県内外において県産材マッチング商談会を実施しました。
　・県外に出向き、木材関係者を招待して商談会を実施しました。(愛知県名古屋市)

○新たな県産材利用促進事業
　・民間企業等のアイディアを活かし、製材製品以外の県産材の利用商品や利用方法の開発に対し、以下のとおり支援を行いました。(6 件)

事業主体	実施内容
サンノー産業（株）	CLT を使用したスクリューによる簡易接合のデザインとモデルの開発
E-CLT（株）	CLT を使用した折版構造の開発
愛媛県森林組合連合会	のぼりスタンドテーブルの開発
(同)木生活	県産材を使用したヴァイオリンの開発
(株) Tomo　Yell	ペット用フードボウルの開発
肱川流域林業活性化センター	デザイン性に富んだタンコロ椅子の開発
計	６件

非住宅 木造建築フェア 2022 での県産材ＰＲ（R4. 6. 16～17）

名古屋市内の木材市場での県産材展示・販売会（R4. 9. 13）

4　事業期間　　令和２年度～令和６年度

5　全体計画

事業内容			R2	R3	R4	R5	R6	計
計画	県産材マッチング商談会の実施		3回	3回	3回	3回	3回	15回
	建材関係展示会への出展		2回	2回	2回	2回	2回	10回
	新たな県産材利用件数		5件	5件	4件	4件	4件	22件
	事業費		14, 800千円	14, 690千円	13, 710千円	13, 710千円	13, 710千円	70, 620千円
		うち森林環境税	14, 800千円	14, 690千円	13, 710千円	13, 710千円	13, 710千円	70, 620千円
実績	県産材マッチング商談会の実施		2回	4回	4 回	回	回	回
	建材関係展示会への出展		1回	3回	5回	回	回	回
	新たな県産材利用件数		6件	6件	6件	件	件	件
	事業費		13, 784千円	14, 336千円	13, 534千円	千円	千円	千円
		うち森林環境税	13, 784千円	14, 336千円	13, 534千円	千円	千円	千円

⑥特用林産物生産販売促進事業

特用林産物における生産者の確保及び収量の安定化や生産基盤の強化に加えて、消費宣伝活動、新たな販路の開拓やしいたけ生産による林福連携の推進等により、価格向上と産地化を目指すとともに、地域の資源を活用した農山村地域の活性化を図ります。

1　ポイント

乾しいたけや乾たけのこ等の特用林産物は、林業産出額の５割を占めるなど、林産物とともに地域経済の活性化や雇用の確保に大きな役割を占めているものの、生産者の減少や異常気象による不作等の影響もあり、生産量が思うように伸びていない状況にあります。

そこで、生産者の確保及び収量の安定化や生産基盤の強化に加えて、新たな販路の開拓、しいたけ生産による林福連携の推進等により、価格向上と産地化を目指すとともに、地域の資源を活用した農山村地域の活性化を図りました。

2　事業内容

事　　業　　名	事　業　内　容
(1) 原木乾しいたけ等生産促進支援事業	新規生産者の掘り起こし、販売促進や営業活動、料理コンテストの開催や原木の拡大生産分及び新品種を活用した原木導入経費、生産・加工施設整備、しいたけ原木供給の支援及びしいたけ生産による林福連携の推進を行った。
(2) 乾たけのこ生産基盤整備事業	生産量の確保・増産を支援するため、乾たけのこ生産、増産に取り組もうとする森林組合等に対し、作業道開設及び生産・加工に係る施設整備経費に対して助成を行った。
(3) 特用林産物販売・消費拡大支援事業	特用林産物の認知度向上と消費拡大を図るため、コラボ商品の開発や試験販売を行ったほか、ＳＮＳや情報誌を通じて県民に広く周知した。

3　令和４年度実績

（1）実績額　　１８，４７８千円（全体事業費　１９，０５６千円）

（2）実施状況

料理コンテスト

しいたけ原木供給支援

乾たけのこ

林福連携の取組み

コラボ商品による消費拡大支援

木をつかう活動

４　事業期間　　令和２年度　～　令和６年度

５　全体計画

事業内容			R2	R3	R4	R5	R6	計
計画	ふれあう人数		200人	200人	200人	200人	200人	1,000人
	木材使用量		3,965m^3	3,965m^3	3,965m^3	3,965m^3	3,965m^3	19,825m^3
	乾たけのこ生産面積（積算）		362ha	372ha	382ha	392ha	402ha	402ha
	事業費		25,010 千円	24,463 千円	19,825 千円	19,625 千円	19,625 千円	108,548千円
		うち森林環境税	24,611 千円	23,631 千円	19,131 千円	18,928 千円	18,928 千円	105,229千円
実績	ふれあう人数		121人	103人	171人	人	人	人
	木材使用量		3,322m^3	3,113m^3	3,424m^3	m^3	m^3	m^3
	乾たけのこ生産面積		363ha	405ha	429ha	ha	ha	ha
	事業費		24,463 千円	22,249 千円	19,056 千円	千円	千円	千円
		うち森林環境税	23,682 千円	21,926 千円	18,478 千円	千円	千円	千円
実施箇所			県内全域	県内全域	県内全域			

⑦ えひめこどもの城「To-be の森」プロジェクト（一部森林環境税事業）

えひめこどもの城において、県産材等を用いて、複層型木製アスレチック遊具を整備しました。

1　ポイント

本県の子どもたちの遊びと創造のシンボル施設であるえひめこどもの城では、豊かな自然に囲まれた立地を活かし、魅力向上のための新しい空間づくりを推進している。

そこで、来園者層の拡大に繋がる大型遊具「複層型木製アスレチック遊具」を、県産材等を用いて整備することにより、えひめこどもの城を利用する児童やその家族に木材と触れ合う機会を提供するとともに、木材への親しみを深めてもらい、もって県産材の需要拡大を図る。

2　事業内容

（1）事業箇所　えひめこどもの城（松山市西野町）
（2）施設概要　複層型木製アスレチック遊具
（3）整備効果　イベント広場ゾーンにおいて、幅広い層が楽しめる大型遊具（名称「立体アスレチック　コシロ・アドベンチャー」）を整備することにより、施設ひいては地域全体の魅力向上につなげるとともに、施設利用者が、遊びながら、森林・林業への理解を深められる環境を整える。

3　令和４年度実績

（1）実施額　　1,500 千円（全体事業費 63,500 千円）
（2）実施状況

4　事業期間　　令和２年度　～　令和６年度

5　全体計画

事業内容		R2	R3	R4	R5	R6	計
計画	県民参加人数	450,000人	450,000人	450,000人	450,000人	450,000人	2,250,000人
	木材使用量	221.9㎥	未定	未定	未定	未定	未定
	事業費	274,903 千円	55,590 千円	70,332 千円	72,232 千円	未定	473,057千円
	うち森林環境税	2,000 千円	1,500 千円	1,500 千円	3,000 千円	未定	8,000 千円
実績	県民参加人数	191,380 人	201,290人	310,330 人	人	人	人
	木材使用量	221.9 ㎥	34.6㎥	21.4㎥	㎥	㎥	㎥
	事業費	167,764 千円	12,540千円	63,500千円	千円	千円	千円
	うち森林環境税	2,000 千円	1,500千円	1,500千円	千円	千円	千円
実施箇所		えひめこどもの城とべ動物園	えひめこどもの城	えひめこどもの城	えひめこどもの城	えひめこどもの城	

① 県民と森との交流促進事業

森林ボランティア活動をはじめとする県民の森林づくりに係る活動の支援や、フィールドとなる森林の提供、「えひめ山の日の集い」などによる森林との交流を進めます。

1 ポイント

森林の利活用促進を図るため、愛媛県森の交流センターを拠点として、様々な情報提供をはじめ、個別の相談や現地での指導といった支援を積極的に行い、森林を利活用する活動への参加に向けた、県民の関心を喚起する。また、県民が森林づくり活動を行えるようフィールドを提供する。

平成 16 年 11 月に制定した「えひめ山の日」（11 月 11 日）を普及するため、「えひめ山の日の集い」を開催するとともに、森林環境税と同税活用事業の成果等を広く周知する。

さらに、森林環境税を財源とした事業について、適切な実施と透明性の確保を図るため、愛媛県森林環境保全基金運営委員会を開催し、事業の調査・審議を行う。

2 事業内容

（1）事業イメージ

3 令和４年度実績

（1）実績額　　17,703 千円

（2）事業内容

①森とのふれあい活動フィールド運営整備事業	○愛媛県森の交流センターの運営 ・森林の利活用に関する情報の収集と発信、ﾌｨｰﾙﾄﾞ（森）の斡旋　等 ・森林ボランティア活動等に関する相談及び現地指導 ・森林環境税活用事業の実施支援 ○県民参加のフィールド整備提供事業 ・県民が手軽に、また身近に森林を利活用できるよう、拠点フィールドの環境整備等行い、活動に必要な安全具、機械類等を配備し、貸出を行いました。 ○企業の森づくり促進支援事業 ・企業によるＣＳＲ活動としての森林づくり活動を支援するために、フィールド設定のための現地調査を実施。
②森林人育成事業	・各地域で要望に応じ森林・林業教室を開催するほか、技術的な支援を行う。また、教職員等を対象に、森林・林業等に関する研修会を開催した。 ・森林ボランティア団体等が安全で気軽に山づくりができるように、必要な器具を整備し、貸出体制を整えた。
③「えひめ山の日の集い」等啓発事業	「えひめ山の日」を県民に広く普及するとともに、県民参加の森林づくりを推進するため、「えひめ山の日の集い」を開催。
④愛媛県森林環境保全基金運営委員会の運営	森林環境税を財源とした事業について、調査・審議を行うため、委員 10 名からなる愛媛県森林環境保全基金運営委員会を開催するとともに、森林環境税の制度内容及び実施事業について、広く県民に普及啓発するために、普及啓発冊子等を配布。

（３）実施状況

①　森とのふれあい活動フィールド運営整備事業

ア　愛媛県森の交流センターの運営（東温市田窪、平成 17 年度設置）

愛媛県森の交流センターは、森林環境税の導入目的である「森林環境の保全」と「森林と共生する文化の創造」を実現するため、森づくりを行う市民グループ等の人的交流や情報の発信を行うとともに、森林・林業等に関わる情報の提供、あるいは森林所有者等による森づくりを行う拠点として設置した施設であり、以下の業務を行いました。

［業務内容］

○　森林ボランティア、ＮＰＯ、森づくりを行う市民グループ等の活動を支援するため、指導者又は指導機関の斡旋、紹介や技術指導を行いました。

○　森林・林業・木材業にかかる情報について、正しい情報と的確な技術の提供・伝達や県等が行うイベントや研修、学習会等の普及広報を行いました。

○　県民参加の森林づくりを推進するため、森林所有者から活動フィールドの提供を受けて、活動を希望する団体にフィールドの斡旋を行いました。

○　その他、森林環境税を活用した事業の実施や、県下で活動される団体の組織、活動内容等を情報として発信するなど、団体相互の交流を支援しました。

イ　県民参加のフィールド整備提供事業

県民が森林で活動するためのフィールドを整備しました。

ウ　企業の森づくり促進支援事業

企業によるＣＳＲ活動としての森林づくり活動を支援するために現地調査を実施し、「愛媛県企業の森づくりＣＯ２吸収量認証制度」を運営しました。

森林づくり活動協定締結企業（８社）：太陽石油（株）、アサヒビール（株）、（株）愛媛銀行、（株）伊予銀行、生活協同組合コープえひめ、（一社）愛媛県空調衛生設備業協会、三浦工業(株)、（公財）ニッセイ緑の財団

②森林人育成事業

ア　少年自然愛護活動事業

県内各地において、小・中学校やその他団体等の要望に応じて、林業教室等を実施するほか、その技術的な支援を行いました。

イ　森林ボランティア活動機械等の整備

森林ボランティア活動を支援するためのボランティア活動機械（チッパー機等）及び器具（ヘルメット等）を整備しました。

③「えひめ山の日の集い」の開催

開催日：令和４年 11 月５日（土）

ア　式典・式典併催行事

「えひめ山の日」を普及啓発するため、令和４年度は、「森を楽しむ」をテーマに、表彰や記念行事を開催し、森林への理解を深めて頂きました。

場所：エミフル MASAKI 及びえひめ森林公園

<table>
<tr><th>時間</th><th colspan="2">式典
（エミフル MASAKI グリーンコート）</th><th>式典併催行事
（えひめ森林公園）</th></tr>
<tr><td>10：30</td><td>式典</td><td></td><td rowspan="4">・タイニーハウス上棟ワークショップ
・木の端材持ち帰りコーナー
・フォトスポット：どこでもドア
・(併催)森のとびら：木工体験等の木育</td></tr>
<tr><td></td><td>表彰</td><td>CO2 吸収証書、緑の募金感謝状、
県産 J-VER 感謝状</td></tr>
<tr><td>11：15</td><td>記念行事</td><td rowspan="2">・タイニーハウス上棟ワークショップ
・木製ペン立てづくり</td></tr>
<tr><td>15：30</td><td>閉会</td></tr>
</table>

表彰式典(エミフル MASAKI)

上棟ワークショップ(えひめ森林公園)

④愛媛県森林環境保全基金運営委員会の運営

任　　期：令和３年４月１日～令和５年３月 31 日（２年間）

内　　容：事業の透明性・公平性を確保するため、県指定事業及び公募事業の調査・審議を実施。

開催状況：

第１回(R4.7.14)	・R3 森林環境保全基金事業実績報告について ・R4 森林環境保全基金事業計画について
第２回(R5.2～3) ※書面開催	・R5 森林環境保全基金公募事業の審査について
第３回(R5.3.23)	・R5 森林環境保全基金事業計画について ・R5 森林環境保全基金公募事業について

４　事業期間　　令和２年度～令和６年度

５　全体計画

事業内容			R2	R3	R4	R5	R6	計
計画	森の交流ｾﾝﾀｰ相談件数		2,000 件	2,000 件	2,000 件	2,000 件	2,000 件	10,000 件
	身近なﾌｨｰﾙﾄﾞ設置箇所数		5箇所	5箇所	5箇所	5箇所	5箇所	25箇所
	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ人数	拠点ﾌｨｰﾙﾄﾞ	200人	200人	200人	200人	200人	1,000人
		身近なﾌｨｰﾙﾄﾞ	800人	800人	800人	800人	800人	4,000人
	「えひめ山の日の集い」参加者数		2,000 人	2,000 人	2,000 人	2,000 人	2,000 人	10,000 人
	事業費（千円）		21,663	21,663	20,200	21,738	20,500	104,826
		うち森林環境税	21,663	21,663	20,200	21,738	20,500	104,826
実績	森の交流ｾﾝﾀｰ相談件数		1,430件	1,390 件	1,350 件			
	身近なﾌｨｰﾙﾄﾞ設置箇所数		2箇所	1箇所	0箇所			
	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ人数	拠点ﾌｨｰﾙﾄﾞ	55人	75人	184名			
		身近なﾌｨｰﾙﾄﾞ	520人	413人	528名			
	「えひめ山の日の集い」参加者数		2,039人	352人	508名			
	事業費（千円）		15,371	15,526	17,703			
		うち森林環境税	15,371	15,526	17,703			

② 林業普及指導事業（一部森林環境税事業）

林業躍進プロジェクトを県下に普及するため、地域の林業関係者等が集約化を図り、県産材の増産に向けて、これまでの間伐に加え主伐を計画的・段階的に導入し、併せて「伐ったら植える」を実践します。また、無人航空機を活用した森林調査技術の普及に向けて現地実証及び精度検証を行うとともに、普及用の広報誌を発行します。

1　ポイント

林業躍進プロジェクトを推進し、その成果を県下全域に普及するために、森林に関わる地域の構成員や森林整備の担い手等が実践型団地を設定します。さらに、研修や個別指導を実施し、県全体へ林業躍進プロジェクトの普及を目的とした情報誌を発行します。

2　事業内容

事　業　内　容	『林業躍進プロジェクト』では、これまでの間伐に加え、主伐を計画的・段階的に導入し、県産材の増産を図ることとしている。このため、林業普及指導員が中心となって、これまでの路網整備と機械化、団地設定と集約化施業の推進指導に加え、主伐や再造林技術を森林所有者や林業事業体へ普及啓発するとともに、広くプロジェクトを普及するための広報活動を積極的に実施する。
事　業　期　間	令和２年度～令和６年度
実　施　主　体	県下９地区（各地方局森林林業課（森林林業振興班））
対象者実施回数	○実践型団地の設定・普及：森林に関わる地域の構成員、森林整備担い手等 県下９地区、１回 22 名、年間２回実施　計　400 名 ○情報誌発行：県下９地区、年１回
推進団地での事業内容	林業普及指導員が中心となって、集約施業団地の設定と森林経営計画の策定を推進し、団地内外の森林所有者への普及啓発を行う。 また、県の林業技術研修で育成された技術者の情報交換会や集団技術者講習会を開催し、技術者相互の研鑽を図り、持続可能な森林経営と県産材の安定供給体制を確立する。

3　令和４年度実績

（１）実施額　　3, 179 千円（全体事業費 10, 122 千円）

（２）実施状況

［広報誌］

４　事業期間　　令和２年度　～　令和６年度

５　全体計画

事業内容		R2	R3	R4	R5	R6	計
計画	県民参加人数	400人	400 人	400 人	400 人	400 人	2,000人
	事業費	11,846 千円	11,008 千円	11,008 千円	11,429 千円	11,429 千円	56,720 千円
	うち森林環境税	4,038 千円	4,038 千円	4,038 千円	4,038 千円	4,038 千円	20,190 千円
実績	県民参加人数	570人	453人	512 人			人
	事業費	10,212 千円	9,252 千円	10,122 千円			千円
	うち森林環境税	2,677 千円	2,594 千円	3,179 千円			千円
実施箇所		県下一円	県下一円	県下一円	県下一円	県下一円	

③ 「森に親しむ博物館」開催事業

総合科学博物館を会場に、県産材を使用した展示ケース・パネルを備え、森林をテーマにした展示、ミュージアムツアー（展示解説）及び親子で森林に親しむ工作教室を開催します。これらの事業を通じて、森林を保全することによって維持される生物多様性や人と森林の共生の大切さについて、子供を中心とする幅広い世代の県民の森への理解を深め、森林と共生していく文化の創造や環境教育に貢献します。

1　ポイント

（1）県産材を使用した展示ケース、展示パネルを製作し、木目が見え温かみの感じられる展示コーナーを新設します。博物館収蔵資料を展示し森林環境の保全について学ぶ場を提供するとともに「木を循環させる（育てる、使う）」ことを紹介するため、林業の盛んな東予地方の別子山地区において、人によって育まれ再生された森林環境の過去と現在を写真パネルで紹介します。展示期間は、学校遠足が多い時期を中心に設定するなど多くの子供達のまなびの機会提供に努めます。

（2）開催期間中にミュージアムツアー（展示解説会）を開催し、学芸員が展示解説を実施し、来場者の森林への理解と関心を深めてもらいます。併せて、子供達に人気の高い木の葉や木の実等を材料にして楽しみながら学ぶ工作教室をGWと開館記念日に開催します。

2　事業内容

（1）「森に親しむ博物館」

○展示期間及び観覧者数

展示期間	観覧者数(人)
令和4年9月24日(土)～11月6日(日)【44日間】	16,872

○入場料　無料

○展示構成

コーナー名	内　　容
森の植物	新作した植物のレプリカ標本（フジツツジ、オンツツジ、コメツツジ）を中心に、県下に分布する貴重な植物を紹介
森のいきもの	森にすむ昆虫の標本を展示
森の再生	森林環境（別子山地区）の過去と現在を写真パネルで紹介

※展示のために、植物レプリカ標本のほか県産材を使用した展示パネルを2台・展示ケースを1台製作

（2）関連イベント

ア　ミュージアムツアーの開催

科博学芸員による展示解説及び会場周辺の自然観察を行う。

実施：令和4年9月25日　参加者107名

イ　工作イベントの開催

木の葉やドングリ等を材料にした工作イベントを年2回開催する。

タイトル	実施日	参加者数（人）
木の葉で遊ぼう	令和4年5月4日（水 祝）	48
タネで遊ぼう	令和4年11月6日（日）	86

3　令和４年度実績

（１）実績額　　3,090 千円

（２）実施状況

「森に親しむ博物館」チラシ

開催状況

「ミュージアムツアー」開催状況

「工作イベント」実施状況

植物レプリカ標本

県産材を使った展示ケース

4　事業期間　　令和２年度～令和６年度

5　全体計画

事業内容		R2	R3	R4	R5	R6	合計
計画	「森に親しむ博物館」観覧人数(人)	25,680	25,680	25,680	25,680	25,680	128,400
	「ミュージアムツアー」参加人数(人)	120	120	120	120	120	600
	「工作イベント」参加人数(人)	100	100	100	100	100	500
	事業費(千円)	3,434	3,090	3,090	3,090	3,434	16,138
	うち森林環境税(千円)	3,434	3,090	3,090	3,090	3,434	16,138
実績	「森に親しむ博物館」観覧人数(人)	13,522	13,121	16,872			
	「ミュージアムツアー」参加人数(人)	85	80	107			
	「工作イベント」参加人数(人)	95	105	134			
	事業費(千円)	3,434	3,090	3,090			
	うち森林環境税(千円)	3,434	3,090	3,090			
実施回数		展示１回 工作１回	展示１回 工作１回	展示１回 工作２回	展示１回 工作２回	展示１回 工作２回	

※平成 20 年度から 21 年度までは「森のめぐみ　木のものがたり展」開催事業、平成 22 年度から令和 2 年度までは巡回展「森に親しむ博物館」開催事業として類似事業を実施

④ 森林病害虫獣害対策事業（一部森林環境税事業）

県木である松を守るため、重要な松林を対象とした必要最小限度の松くい虫薬剤樹幹注入を行い、松林の保全を図る。

1　ポイント

県木である松を守るため、従来から行っている薬剤樹幹注入の予防措置を実施することで、引き続き適切な防除に努めることとする。

2　事業内容

（1）松のみどりを守る活動事業（樹幹注入）

松くい虫による枯死を予防するため、松に薬剤を注入する。

市町	事業量	事業費	うち森林環境税額
今治市	373 ㎥	9,086 千円	2,250 千円
伊予市	321 ㎥	6,955 千円	1,738 千円
計	694 ㎥	16,041 千円	3,988 千円

3　令和４年度実績額

（1）実績額　　3,988 千円（全体事業費 16,041 千円）

（2）実施状況

樹幹注入作業の様子

樹幹注入作業の様子

4　事業期間　　令和２年度～令和６年度

5　全体計画

事業内容		R2	R3	R4	R5	R6	計
計画	樹幹注入量(m3)	242	242	242	242	242	1,210
	事業費	11,858 千円	2,806 千円	15,956 千円			
	うち森林環境税	3,014 千円	751 千円	3,988 千円			
実績	樹幹注入量(m3)	225	437.73	694			
	事業費	5,699 千円	4,973千円	16,041千円			
	うち森林環境税	1,424 千円	751千円	3,988千円			
実施箇所		樹幹注入（今治市・久万高原町）松林保全活動（今治市）	樹幹注入（今治市・伊予市・久万高原町）	樹幹注入（今治市・伊予市			

⑤ アートの森プロジェクト事業（一部森林環境税事業）

県民の文化芸術の拠点となっている県美術館で、県産材により作成した額や展示台等による展示事業や関連イベントを展開することで、優れた県産材の魅力をアピールします。

1　ポイント

新たに県産材を使用した額や展示台等を新規作成し、これらを使用して「森林」に関する芸術作品を活用した展覧会を、子どもたちの学校団体利用の多い新館で開催することで、県産材の魅力を作品鑑賞の機に子どもを始めとした県民に広く伝えることができます。また、展示内容と関連し、県産材を活用したイベントを会期中に開催することで、森林と美術についての理解を深める機会を提供するものです。

2　事業内容

（1）　県産材による額や看板等の作成

（2）　上記の額や看板等を使用したコレクション展「森のなぞなぞ美術館Ⅲ-木からハジマル、木からハジメル-」の開催

時期：令和４年６月 14 日（火）～9 月 11 日（日）
場所：新館２階　常設展示室２
料金：有料（コレクション展観覧料）
観覧者数：7,966 人

（3）　上記会期中の関連イベントの実施

1．親子ワークショップ『木でオリジナル乗り物をつくろう』
日時：8 月 14 日（日）、21 日（日）、9 月 11 日（日）、18 日（日）
各①10:30～11:00　②14:00～15:00
場所：南館アトリエ２
定員：各３組（参加者：のべ 66 人）
要申込・材料費 300 円

2．レクチャー『木からハジマル、木からハジメル』
日時：７月９日（土）14:00～15:00
講師：喜安嶺主任学芸員
場所：本館１階　講堂
定員：60 名（参加者７名）　申込不要・参加無料

3．ワークショップ『木を知ろうーカンフォロでつくるすべすべのかたち』
日時：8 月７日（日）13:00～15:00
講師：Drill-masumoto（東雲女子大学准教授　増本達彦）
場所：本館中庭ほか
定員：小学校４年生～中学３年生 10 名（参加者：のべ 17 人）要申込・参加無料

3　令和４年度実績

（1）　実施額　　897 千円（全体事業費 1,251 千円）

（2）　実施状況

1.　県産材で作成した額・看板等

2.　コレクション展「森のなぞなぞ美術館Ⅲ」のチラシと展覧会の様子

3.　イベントワークショップ『木を知ろうーカンフォロでつくるすべすべのかたち』の様子

4　事業期間　　令和２年度　～　令和６年度

5　全体計画

事業内容		R2	R3	R4	R5	R6	計
計画	ふれあう人数	11,000人	11,000人	11,000人	13,000人	15,000人	61,000人
	事業費	1,270 千円	1,170 千円	1,254 千円	1,254 千円	3,000 千円	7,948 千円
	うち森林環境税	1,000 千円	900 千円	900 千円	900 千円	2,000 千円	5,700千円
実績	ふれあう人数	2,657人	4,183人	8,056人	人	人	人
	事業費	1,254 千円	1,162 千円	1,251 千円	千円	千円	千円
	うち森林環境税	984 千円	893 千円	897 千円	千円	千円	千円
実施箇所		愛媛県美術館	愛媛県美術館	愛媛県美術館	愛媛県美術館	愛媛県美術館	